

## 第1回 多摩市市制施行50周年記念誌編集委員会 要点記録

- 1 日時：平成29年10月27日（金）午前10時から午前11時30分
- 2 場所：多摩市役所3階 特別会議室
- 3 出席委員： 浜田委員長、保坂副委員長、長倉委員、三輪委員、川村委員、松井委員
- 4 議事：市制施行50周年記念誌の編集について

### 1 開会

事務局 第1回目の多摩市市制施行50周年記念誌編集委員会を開催する。進行については、委員長が決定するまで事務局が行う。  
資料配布の確認を行う。

### 2 委員紹介

事務局 次に委員紹介に移りたい。  
各委員から自己紹介が行われた。  
次に、編集や執筆作業を行っていただく多摩市文化振興財団より職員紹介を行う。  
次に、職員の紹介を行う。

企画課長 本日は、諸事情により企画政策部長が不在のため、課長より挨拶を行う。  
多摩市は、平成33年11月1日に市制施行50周年を迎え、その50年という記念の節目を全市をあげて祝いたいと考えており、その1事業として、多摩市が歩んできた50年の道筋を明らかにし市民の財産となるような記念誌を作成する。  
本委員会の前身として、設置した多摩市市制施行50周年記念誌作成準備委員会では、記念誌作成における、編集基本方針を策定した。本委員会では、編集基本方針をもとに、記念誌の編集、執筆における内容の検討・監修を行っていただく。  
是非皆さんの日頃の経験から、様々なご意見をいただければと思う。事務局も皆様と力を合わせて委員会が円滑に進行できるよう努めるので、ご協力いただけるようお願いしたい。

### 3 委員長及び副委員長の選任

事務局 次に、委員長、副委員長の選任に移りたい。どなたか自薦、他薦はあるか。

委員 編集委員会の前身であった、市制施行50周年記念誌作成準備委員会で委員長を務められた浜田委員に、本委員会でも委員長をぜひお願いできたらと思う。

事務局 浜田委員が推薦されたが、ほかに意見のある方はいるか。

委員全員の賛成により、浜田委員を委員長に選任した。

副委員長はいかがか。

委員長 同じく、編集委員会の前身であった、市制施行50周年記念誌作成準備委員会で副委員長を務められた保坂委員に、本委員会でも引き続きお願い出来たらと思う。

委員全員の賛成により、保坂委員を委員長に選任した。

事務局 委員長、副委員長から就任にあたって一言お願いしたい。

委員長 多摩市はニュータウン開発で大きく変貌をとげたまちである。土地造成により地

形から根本的に変わったまちであること、また全国に誇る大ニュータウンとしての歩みを記念誌で見せられたら良いと思う。よろしくお願ひしたい。

副委員長 多摩市地域も、南、東、西の文化や歴史はそれぞれ違ふ。ここで、多摩の歴史や文化を明らかにすることで、また見え方が変わってくると思う。  
刊行まで、よろしくお願ひしたい。

#### 4 会議運営に関する事項の確認について

委員長 まず、会議運営に関する事項の確認について、事務局から説明をお願ひしたい。  
事務局 会議運営に関する事項の確認について説明する。

資料3に基づいて説明を行った。

委員長 事務局の提案に対し、意見、質問等はあるか。

#### 5 多摩市市制施行50周年記誌作成について

委員長 資料の説明をお願ひしたい。

事務局 資料4及び参考資料1、2に基づいて説明を行った。

委員長 何か、ご意見等はあるか。

副委員長 記念誌の作成においては、章立て、編集と執筆はセットになると思う。  
内容によって依頼する執筆者が決まったり、引き受けていただける執筆者によっても内容が変わることもある。

また、市史編さん時に携わっていただいた方にもお声かけするのだと思うから、うまく調整することが必要である。

委員長 羽村市の市史編さんに携わっているが、写真等の資料が無いことには、原稿を執筆できないこともあるので、どれだけ資料を集められるのかが重要である。

委員 執筆者にどう依頼するのかが記念誌の完成が変わってくる。少子高齢や人口減少のマイナスイメージでなく、未来に希望を持てるような書き方にしてもらえるようにお願ひしたら良いと思う。

委員長 行政としての計画や将来図ではなくて、市民やまちの将来が描けたら良いと思う。

委員 多摩市史編さんに携わらせていただいたが、当時あったものをすべて網羅したと思う。市史は文字が多いが、記念誌は、小中高校生が興味を持てるよう、写真をメインとしたものが良いと思う。

委員 ニュータウン開発前からあり現在も残っていて、その場所に行けば観られるというようなページがあると良いと思う。

副委員長 多摩ニュータウン開発で一度壊され、そして新たにできた人工のまちかもしれないが、50年が経ち今新たな自然が形成されていると思う。植物が変わってきたり、飛んでいる鳥も変わってきており、環境の変化を見せられたら面白いと思う。環境の変化は、悪い点ばかりが表に出やすいが、身近な自然の移り変わりが分かってよいと思う。

委員 自然が戻りつつあるように思う。以前とは違ふものではあるが、一時なくなった自然が、落ち着いてきているように思う。自然については、やはり写真で見せるのがいちばんだと思う。

- 委員長 明治神宮も原野だった場所に植樹して自然らしくなっている。多摩市もその大規模版で、似ているのだと思う。
- 委員 多摩市史は文章体なので、記念誌は写真を通して多くのことを伝えられたら良いと思う。例えば市民生活の変化が見られたら面白いと思う。公募で募集している写真の応募が多く来てくれたらよいと思う。
- 副委員長 出来るだけ多くの写真を集められたら良い。資料としてストックになるし多すぎて困ることはない。
- 委員長 イベントごとの写真は良くあるが、日常の写真を撮ることはあまりないので、集まるのかが課題になる
- 副委員長 「古い」と聞くと明治時代以前をイメージして、平成時代は大事ではないと思いがちであるが、そうではない。5年経つとビルが無くなったり、中央線のように、数年で高架化してまちの観覧が変わったりする。これらもすべて歴史の変化になる。当時なんでもない写真が、時が経つと良い写真になったりする。
- 財 団 編集、執筆するうえで、普通の写真はたくさんほしい。
- 委員長 準備委員会では、多摩ニュータウン開発の映像を観て、その写真化の必要性をあげた。写真化をする場合、どのように作成していくのかも今後の課題となる。
- 委員 多摩市には多摩ニュータウン開発以前からある既存地区に団地族が入ってきた。意識も違うと思うので、融合できると良い。
- 副委員長 既存地区には、祭事も歴史もある。団地族の子どもたちがそれを学ぶ機会となれば良いと思う。
- 委員 団地が出来て50年になる。団地にも団地の歴史がある。ニュータウンも多摩のふるさとという気持ちを持ってもらえたら良いと思う。
- 副委員長 記念誌の文化活動にページには、市民活動団体等の紹介があると良いと思う。活動に参加したいと思う市民が記念誌を見て、分かりやすく、参加したいと思える内容を記載すると良いと思う。特に定年後に何らかの活動に参加したいと思う市民が、参加しやすくなるような記載にできたら良いと思う。
- 財 団 定年した人たちのきっかけとなり、未来の展望になる記念誌ができれば良い。
- 委員長 次回の委員会では章立ての土台について提示したいと考えている。土台を作成する段階で、何か案があればいただきたい。
- 副委員長 他市の市史編さんのときは、章立ての原案を作ってから執筆を担当する委員の方から意見をいただいた。
- 委員 多摩市の記念誌についても、原案から意見をいただいて構成作りをすると思うが、現段階では白紙の状態なので、積極的な意見等があればぜひお願いしたい。
- 副委員長 準備委員会でも話に挙げた電子書籍については、記念誌との同時並行は難しいと思うが、学校でもタブレット化が進んでいるので、作成できたら良いと思う。
- 委員 長 クリックすると音が出たり映像が再生されるなど、教育の資料としてすごく良いと思う。予算の問題等もあると思うがぜひ検討いただきたい。
- 委員 長 冊子がメインになると思うが、電子媒体化も今後できたら良いと思う。

## 6 閉会

事務局

次回、第2回多摩市市制施行50周年記念誌編集委員会については、1月を予定している。委員の皆様には改めて日程調整の依頼を連絡する。